

令和8年度 中学校特別支援教室

こぶし教室

武蔵野市立第二中学校【拠点校】

所在地:〒180-0021 東京都武蔵野市桜堤1-7-31

<教室の教育目標>

学校生活や社会生活に適応し、自立・協働・社会参画ができる生徒を育成する。

1. 自己理解を深め、豊かな人間関係を築くことができる力、多様な価値観を認識できる力を育てる。
2. 規則正しい生活習慣を確立し、自らの感情をコントロールできる力を育む。
3. 自分に合った学習方法を学び、進んで学ぶ意欲を育てる。

<指導の基本方針>

生徒本人の意思を尊重し、巡回指導教員と在籍学級担任及び保護者の連携のもとで指導を行う。

1. 適切な関わり方や対人関係のあり方を学び、他者と協力し行動する態度を育む。
2. 生徒一人一人の能力や特性、多様性に配慮した指導を行い、自己肯定感を高めることができるように支援する。
3. 自己の能力や適性に応じて主体的な進路選択ができるように支援する。
4. 在籍学級担任や保護者、関係機関との連携を密にして、外部の専門家からの助言も活用しながら指導する。

<入室対象生徒>

- ・通常の学級に在籍している生徒
- ・知的障害がなく、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害がある生徒
- ・通常の学級での学習におおむね参加でき、一部、特別な指導を必要とする生徒

<こぶし教室の概要>

- ・拠点校 武蔵野市立第二中学校
- ・教室名 こぶし教室
- ・学級形態 特別支援教室
- ・教職員 二中拠点校校長 佐藤 敏数
二中拠点校副校長 鈴木 淳史
巡回指導教員 岡田 正、松井 晶揮、酒井 優
前澤 美奈子

◆各校に特別支援教室専門員を配置する。

・在籍生徒数(令和8年4月1日現在)

	二 中	五 中	六 中	合 計
1 年	3	6	3	12
2 年	6	3	6	15
3 年	8	3	1	12
合 計	17	12	10	39

<指導形態・指導内容>

対象生徒は、週に1、2時間程度、在籍中学校内に設置された特別支援教室で指導を受ける。
指導形態は個別指導もしくは小集団指導である。

<指導内容>

学習指導要領に定められた、自立活動を行う。

<教室の予定>

1学期	新年度保護者会 二中(4月13日) 五中(4月14日) 六中(4月17日) 巡回指導始(4月13日) 全学年個別面談(6月22日～6月26日) 小中継続希望者体験授業週間(予定) (7月21日～7月31日、8月24日～25日)
2学期	全学年個別面談(11月9日～11月16日)
3学期	個別面談(希望者のみ)(2月22日～2月26日) 巡回指導終(3月12日)

<こぶし教室での指導開始と終了の流れ>

- ① 保護者や学級担任等の気付きから面談等を行い、こぶし教室での支援の必要性を検討する。
- ② 在籍校の校内委員会で協議・検討する。
- ③ 発達検査を受ける。既に受けている場合は、その資料を学校に提出する。
- ④ 生徒や保護者と在籍校担任や巡回指導教員との面談を実施する。合意形成を図り入室の申請を行う。
- ⑤ 市の通級判定委員会が、適・可・否のいずれかの判定をする。
- ⑥ 在籍校は保護者へ結果を通知する。
- ⑦ 定期的に指導目標が達成したかを評価する。原則として指導期間は1年間である。